

2025 年 4 月 18 日

SUBARU バッテリーEV 2台を世界初公開 ～2026年以降、SUBARUでバッテリーEVを生産予定～

SUBARU は、米国ニューヨークにて開催中の 2025 ニューヨーク国際オートショーにおいて、新型「トレイルシーカー」と、「ソルテラ」改良モデルを世界初公開しました(米国仕様車)。



新型「トレイルシーカー」(米国仕様車)

SUBARU グローバルバッテリーEV ラインナップ第 2 弾となる新型「トレイルシーカー」は、バッテリーEV ならではの走行性能と、クロスオーバーユーティリティビークルとしての実用性を高い次元で両立。日常でも非日常でも使いやすく、アクティブなライフスタイルを後押しするモデルであり、SUBARU のバッテリーEV のバリエーションを拡充しました。

エクステリアは、バッテリーEVらしい先進性と、アウトドアにおける機能性や日常での使い勝手の良さを兼ね備えたアクティブでラジッドなデザインとしました。インテリアは、インパネ全体をすっきりとした横基調とし、広さを感じさせる居心地のよい開放的なデザインに仕上げました。

電池・充電性能では、74.7kW の大容量リチウムイオンバッテリーを採用し、航続距離約 260 マイル以上*1 を実現。さらに、バッテリープリコンディショニング*2 を搭載することで、常温時や冷間時に関わらず短時間*3 での充電を可能とし、バッテリーEV としての高い実用性を確保しています。

走行性能では、前後に高出力モーターを搭載したことにより、システム最大出力 375 馬力を実現。レスポンスよく最大トルクを発生させるモーター特性を活かした、バッテリーEV ならではのリニアで伸びのある加速を提供します。また、SUBARU が培ってきた技術を活かしたサスペンションや電動パワーステアリングのセッティングや、ドライバーとクルマの一体感を高めた新たな AWD 制御の採用により、様々な路面でもドライバーがより意のままに操れる走りを実現しました。

使い勝手では、大容量の荷室空間を確保するとともに、機能性を備えたカーゴルームを採用。また、ラダータイプの大型ルーフレールを採用することで、積載性を高め、様々な用途に対応します。

新型トレイルシーカーは、2026 年以降 SUBARU で生産し、米国市場で導入を予定しています。



「ソルテラ」改良モデル(米国仕様車)

「ソルテラ」は、SUBARU 初のグローバルバッテリーEV として 2021 年に発表。バッテリーEV ならではの新しい価値や、私たちが長年にわたって培ってきた「安心と楽しさ」という SUBARU ならではの価値を詰め込んだ SUV であり、これまでお客様の声に対し真摯に向き合い、実用性を中心に商品の進化を続けてきました。

今回の改良では、バッテリーEV としての先進性と実用性にさらに磨きをかけました。

エクステリアは、SUV としての高い性能と、優れた空力性能を融合したデザインに、新意匠のヘッドランプとフロントバンパー、塗装を施したフロントとリアのアーチガーニッシュによって、都会的で洗練された上質なデザインを表現。さらに、発光式の六連星オーナメントと「SUBARU」ロゴの入ったリアゲートガーニッシュを採用することで、SUBARU ブランドの存在感を強調しました。インテリアは、インパネ全体でシンプルな横基調の造形を施し、居心地の良さを感じさせる開放的なデザインに進化しました。

電池・充電性能では、リチウムイオンバッテリー容量を拡大することで、従来モデルに対し航続距離を約 25%向上^{*1}。さらに、バッテリープリコンディショニング^{*2}の搭載により、充電量 10%から 80%までの急速充電時間約 30 分^{*4}を実現し、あらゆる環境におけるバッテリーEV の実用性を高めました。

走行性能では、モーターの高出力化により、システム最大出力 233 馬力へ向上。さらに、新しく追加した「XT」グレードでは、より高出力なモーターを採用することで、システム最大出力 338 馬力を実現し、加速性能を進化させました。また、SUBARU が培ってきた技術を活かしたサスペンションや電動パワーステアリングのセッティングや、新たな AWD 制御の採用により、様々な路面でもドライバーがより意のままに操れる走りを実現しました。

ソルテラ改良モデルは、米国市場で 2025 年中の導入を予定しています。

新型トレイルシーカーとソルテラは、トヨタと SUBARU が、「もっといいクルマづくり」を目指して、互いに強みとする技術や知見を持ち寄り、両社のエンジニアが切磋琢磨しながら共同開発しました。

SUBARU は、カーボンニュートラル社会実現への貢献を目指して、電動化などの取り組みを加速させていきます。

*1: 開発時における試算値(米国仕様)。実際には、使用環境(天候、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)などによって航続距離が異なります。

*2: 急速充電の前にバッテリー本体の温度を調整する機能。

*3: 現在販売している SUBARU のバッテリーEV「ソルテラ(改良前モデル・米国仕様)」と比較。

*4: -10℃の環境下において、150kW 急速充電器での充電時間(開発時における試算値)。周辺の環境温度、バッテリー温度によって充電時間が異なる場合があります。